令 和 ２ 年 度

事　業　報　告

自　令和2年4月　1日
至　令和3年3月31日

社会福祉法人　大阪市淀川区社会福祉協議会

事 業 運 営 諸 会 合

令和２年

４／１　（水）　区社協発令式
４／１４　（火）　高齢者虐待連絡会・地域包括支援センター合同連絡会議
４／２４　（水）　地域社会福祉協議会会長会（書面）
　○事務局新体制
　○令和２年度事業計画について
　○地域防災用具整備払出しについて
４／２８　（火）　ブランチ連絡会、関係機関会議

５／１１　（月）　淀川こども居場所ネットワーク定例会（メール）
５／１２　（火）　・地域包括支援センター合同連絡会
　・行政連絡調整会議（書面）
５／１５　（金）　第三者委員会
５／２１　（木）　第１２６回理事会（書面）
　○令和元年度度事業報告について
　○令和元年度決算報告について
　○令和２年度補正予算について
　○理事候補者の推薦
　○評議員候補者の推薦
　○規定・規則の一部改正（案）について
５／２６　（火）　監事監査
　ブランチ連絡会
６／１　（月）　地域包括支援センター合同連絡会
６／５　（金）　第６８回評議員会（書面）
　○令和元年度度事業報告について
　○令和元年度決算報告について
　○令和２年度補正予算について
　○理事候補者の推薦
　○評議員候補者の推薦
　○規定・規則の一部改正（案）について
６／９　（土）　高齢者虐待連絡会・地域包括支援センター合同連絡会議
６／１８　（木）　オレンジネット
６／２３　（火）　オレンジ・見守り連携会議
　ブランチ連絡会・多職種連携会議
７／６　（月）　淀川こども居場所ネットワーク定例会
７／７　（火）　自立支援型ケアマネジメント検討会議（南部包括）
７／８　（水）　淀川区地域包括支援センター運営協議会
７／９　（木）　・三役会
　・第１２７回理事会、第１００回地域部会及び地域社協会長会
　○令和２年度賛助会員の募集

○令和２年度地域社協事業報告・決算書並びに令和３年度事業計画・予算書の提出
○敬老月間事業助成金申請書及び敬老者数報告書の提出

７／１４　（火）　・高齢者虐待連絡会・地域包括支援センター合同連絡会議
・居宅介護支援事業者連絡会　拡大幹事会
・行政連絡調整会議

７／２１　（火）　南部包括・見守り連携会議

７／２８　（火）　ブランチ連絡会

７／２９　（水）　淀川区在宅医療・介護連携推進ワーキンググループ会議

８／５　（水）　自立支援型ケアマネジメント検討会議（淀川包括）

８／６　（木）　募金部会
○令和２年度共同募金配分金について
○令和２年度共同募金助成金配分（案）について

８／７　（金）　第８５回広報部会

８／１８　（火）　高齢者虐待連絡会・地域包括支援センター合同連絡会議

８／１９　（水）　オレンジネット

８／２１　（金）　・三役会
・第１２８回理事会、第１０１回地域部会及び地域社協会長会
○議事録署名人の指名について
○三役の選出
○令和２年度補正予算（案）について
○共同募金助成金の配分について（案）
○淀川区民福祉のつどいの開催について

８／２５　（火）　ブランチ連絡会、多職種連携会議

８／２６　（水）　自立支援型ケアマネジメント　小会議

９／３　（木）　第１回淀川地区募金会　理事会

９／７　（月）　淀川区子ども居場所ネットワーク定例会

９／８　（火）　・高齢者虐待連絡会・地域包括支援センター合同連絡会議
・行政連絡調整会議（書面）

９／１１　（金）　自立支援型ケアマネジメント検討会議　（西部包括）

９／１４　（月）　居宅介護支援事業者連絡会　拡大幹事会

９／１６　（水）　淀川区在宅医療・介護連携推進会議

９／２８　（月）　自立支援型ケアマネジメント　小会議

９／２９　（火）　・ブランチ連絡会
・大阪市社会福祉大会

１０／１　（木）　自立支援型ケアマネジメント検討会議　（東部包括）

１０／１３（火）　高齢者虐待連絡会・地域包括支援センター合同連絡会議

１０／１４（水）　・淀川区民福祉のつどい
・オレンジネット
・認知症初期集中支援事業関係者会議

１０／２０（火）　南部包括・見守り連携会議
１０／２６（月）　自立支援型ケアマネジメント　小会議
１０／２７（火）　・ブランチ連絡会、多職種連携会議会
　　・淀川区在宅医療・介護連携推進会議

１１／２　（月）　淀川区子ども居場所ネットワーク定例会
１１／４　（水）　淀川区包括・見守り連携会議
１１／５　（木）　自立支援型ケアマネジメント検討会議（南部包括）
１１／１０（火）　・第８６回広報部会
　　・高齢者虐待連絡会・地域包括支援センター合同連絡会議
　　・地域ケア推進会議ワーキンググループ
　　・行政連絡調整会議（書面）
１１／１２（木）　加島地域、西部包括・見守り連携会議
１１／１６（月）　居宅介護支援事業者連絡会　拡大幹事会
１１／１８（水）　・淀川区在宅医療・介護連携推進会議
　　・三津屋地域、西部包括・見守り連携会議
１１／１９（木）　・オレンジ・見守り連携会議
　　・東部包括・見守り連携会議
１１／２０（金）　地域社会福祉協議会会長会
１１／２４（火）　ブランチ連絡会
１１／２５（水）　自立支援型ケアマネジメント　小会議

１２／１　（火）　自立支援型ケアマネジメント検討会議　（淀川区包括）
１２／４　（金）　・三役会
　　・第１２９回理事会、第１０２回地域部会及び地域社協会長会
　　〇議事録署名人の指名について
　　〇地域社会福祉協議会への助成について
　　〇子ども見守り活動支援助成について
１２／７　（月）　第 87 回広報部会
１２／８　（火）　高齢者虐待連絡会・地域包括支援センター合同連絡会議
１２／２４（火）　・オレンジネット
　　・認知症初期集中支援事業関係者会議（書面）

令和３年
１／１２　（火）　・淀川区子ども居場所ネットワーク定例会
　　・高齢者虐待連絡会・地域包括支援センター合同連絡会議
　　・行政連絡調整会議（書面）
１／１４　（木）　居宅介護支援事業者連絡会　拡大幹事会
１／１５　（金）　・地域社会福祉協議会会長会（書面）
　　・社協役員研修会　※中止、人権 DVD 配付
１／２０　（水）　在宅医療・介護連携推進ワーキング会議
１／２６　（火）　ブランチ連絡会

１／２８　（木）　認知症施策推進会議（組織代表者）（書面）
２／２　　（火）　淀川区包括・見守り連携会議
２／９　　（火）　・地域社会福祉協議会会長会（書面）
　　・地域包括支援センター合同連絡会議
２／１７　（水）　加島地域、西部包括・見守り連携会議
２／１８　（木）　・薬剤師会、包括、関係機関連携会議
　　・東部包括・見守り連携会議
　　・ブランチ連絡会、多職種連携会議
２／１９　（金）　地域社会福祉協議会会長会（書面）
２／２４　（水）　三津屋地域、西部包括・見守り連携会議

３／１　　（月）　第２回淀川地区募金会　理事会
３／５　　（金）　課題抽出のケア会議
３／９　　（火）　高齢者虐待連絡会・地域包括支援センター合同連絡会議
３／１０　（水）　自立支援型ケアマネジメント検討会議（東部包括）※オンライン
３／１２　（金）　淀川区子ども居場所ネットワーク定例会
３／１５　（月）　居宅介護支援事業者連絡会　拡大幹事会
３／１７　（水）　・三役会
　　・第１３０回理事会
　　〇議事録署名人の指名
　　〇令和２年度第３次補正予算（案）について
　　〇令和３年度事業計画（案）について
　　〇令和３年度予算（案）について
　　〇諸規則等の一部改正（案）について
　　〇役員賠償責任保険契約（案）について
　　〇第６９回評議員会の開催について
　　・淀川区在宅医療・介護連携推進会議
３／１９　（金）　認知症施策推進会議（組織代表者）（書面）
３／２２　（月）　生活支援体制整備事業　協議体
３／２３　（火）　ブランチ連絡会
３／２４　（水）　検証のケア会議
３／２５　（木）　第６７回評議員会（書面議決）
　　〇議事録署名人の指名
　　〇令和２年度第３次補正予算（案）について
　　〇令和３年度事業計画（案）について
　　〇令和３年度予算（案）について
　　〇諸規則等の一部改正（案）について
　　〇役員賠償責任保険契約（案）について
３／２９　（月）　自立支援型ケアマネジメント　小会議

賛助会員加入状況一覧

（令和２年４月１日～令和３年３月３１日）

１　基本会員

件　数	５５件	金　額	３５９，０００円

２　賛助会員

地域	個人（１口　２，０００円以上）		法人（１口　５，０００円以上）	
	件数	金額	件数	金額
新東三国	５件	１０，０００円	０件	０円
東三国	１８件	３８，０００円	０件	０円
北中島	３１件	７４，０００円	０件	０円
宮原	２２件	１０７，０００円	０件	０円
西三国	３０件	６３，０００円	０件	０円
三国	３６件	７５，０００円	２件	１０，０００円
新高	１７件	３４，０００円	０件	０円
西中島	３８件	７６，０００円	０件	０円
木川	３１件	６２，０００円	０件	０円
木川南	２１件	４２，０００円	０件	０円
十三	７件	２０，０００円	０件	０円
野中	１５件	５０，０００円	０件	０円
神津	１７件	３４，０００円	１件	５，０００円
新北野	１０件	２０，０００円	０件	０円
塚本	４０件	８０，０００円	０件	０円
田川	５件	１３，０００円	０件	０円
三津屋	１４件	２８，０００円	０件	０円
加島	４６件	９２，０００円	０件	０円
地域合計	４０３件	９１８，０００円	３件	１５，０００円
区社協	６件	２４，０００円	４３件	２６０，０００円
合計	４０９件	９４２，０００円	４６件	２７５，０００円

３　名誉会員

件　数	６件	金　額	２１，０００円

４　会員加入合計

件　数	５１６件	金　額	１，５９７，０００円

善意銀行事業報告

１ 件 数

種　別	金銭預託		物品預託
預　託	２４件	一般預託：１２件／指定預託：１２件	３５件
払　出	３５件	一般預託：　８件／指定預託：２７件	４３件

２　収　入

内　　容	金　　額
前年度繰越金	１０，６７８，１１９円
一般預託	１，３３２，０４３円
指定預託	１２，９８３，０００円
利息収入	１，０３７円
合　　計	２４，９９４，１９９円

３　支　出

内　　容	金　　額
一般払出	５７１，２４４円
福祉ボランティア活動応援資金払出	１８０，０００円
ボランティア奨活金支給事業払出	３，０００円
指定払出	１０，８８５，００７円
事務費・事業費支出	６６，４９７円
合　　計	１１，７０５，７４８円

４　次年度繰越金

次年度繰越金	１３，２８８，４５１円

善意銀行預託状況一覧

（令和２年４月１日～令和３年３月３１日）

１　金銭預託一般

（敬称略）

氏　　名	件　数	金　　額
大阪よどがわ市民生活協同組合	１件	８００，０００円
吉村雅子	１件	３００，０００円
社会医療法人　協和会職員一同	１件	１００，０００円
福岡英雄	１件	３０，０００円
神崎日曜テニスクラブ	１件	３０，０００円
三国民生委員・児童委員協議会	１件	２０，０００円
一宮物産㈱	１件	１４，０４３円
匿名	５件	３８，０００円
合　　計	１２件	１，３３２，０４３円

２　金銭預託指定

（敬称略）

氏　　名	件　数	金　　額
㈱ダイヘン	３件	９，５００，０００円
アンダーツリー㈱	１件	２，４２０，０００円
広洋物産㈱	１件	４９０，０００円
大阪北ライオンズクラブ	１件	３００，０００円
京セラ㈱大阪営業所一同	１件	１３３，０００円
京セラ㈱大阪営業所	１件	３０，０００円
京セラ労働組合大阪分会	１件	１０，０００円
匿名	３件	１００，０００円
合　　計	１２件	１２，９８３，０００円

３　物品預託

（敬称略）

氏　　名	品　　名	件　数
エヌ・アール機器㈱	アルコール手指消毒薬	１件
大阪北ライオンズクラブ 新梅田シティライオンズクラブ	玩具ほか	１件
神津ネットワーク委員会	介護用タオル	１件
カルビー㈱　近畿支店	食料品	１件
北急ハウジング㈱	食料品	１件
キューピー㈱　大阪支店	食料品	４件
㈱高松コンストラクショングループ	食料品	１件
大阪よどがわ市民生活協同組合	食料品	５件
生活協同組合コープこうべ	食料品	２件
大阪府立東淀川高等学校	食料品	１件
淀川区女性会	食料品	１件
山西秀哉	食料品	１件
小西道子	食料品	１件
花尻　健	食料品	５件
濱田ます美	食料品	１件
萩原寿太郎	食料品	１件
佐藤なぎさ	粉ミルク	１件
佐々木静江	衣料品	１件
山本　賢	絵画	１件
匿名（個人）	食料品ほか	１１件
匿名（企業）	食料品ほか（２８回）	１件
合　　計		４３件

善意銀行払出状況一覧

（令和２年４月１日～令和３年３月３１日）

１　金銭払出一般

（敬称略）

払　出　先	金　額
各地域社会福祉協議会　敬老月間	５４０，０００円
福祉ボランティア活動応援資金（５団体）	１８０，０００円
淀川区社会福祉協議会	３１，２４４円
ボランティア奨活金支給事業	３，０００円
合　計	７５４，２４４円

２　金銭払出指定

（敬称略）

払　出　先	金　額
こどもレスキュー事業助成金	４，３８４，７９０円
こども居場所活動支援事業助成金（６団体）	３，０００，０００円
福祉車両購入助成金	２，４２０，０００円
こども見守り活動支援助成金（11 団体）	５４０，２１７円
こども食堂事業助成金（７団体）	４９０，０００円
児童養護施設　博愛社	５０，０００円
合　計	１０，８８５，００７円

３　物品払出

（敬称略）

払　出　先	品　名
各地域社会福祉協議会	介護タオル
こどもレスキュー事業	食料品
こども食堂	食料品
生活困窮者自立支援事業	食料品
淀川暖気の苑	食料品
ユトリーム大阪北	絵画
幼保連携型認定こども園　博愛社こども園	絵画
児童養護施設　博愛社	絵画・衣料品

あんしんさぽーと事業（自立生活自立支援事業）事業

あんしんさぽーと事業（自立生活自立支援事業）は、平成１１年１０月に国の制度になり、認知症や知的障がい、精神障がい等により、日常生活を営むのに支障のある判断能力が不十分な方の権利擁護に資することを目的として、これらの人々が住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう、本人と支援協議をし、本人との契約に基づき、福祉サービスなどの利用援助や日常的な金銭管理の援助を行うもので、大阪市では先駆けて、平成９年から、大阪市社会福祉協議会財産管理センターにて事業を行ってきた経緯がある。

平成１７年４月からは、実施主体である大阪市社会福祉協議会から各区社会福祉協議会に事業の一部が委託され、利用相談からサービス提供まで行っている。

あんしんさぽーと（自立生活自立支援事業）実施状況

	契　　約	終　　了	利用者数	相談援助件数
４月	０件	２件	１２１件	４６０件
５月	０件	０件	１２１件	５１７件
６月	０件	０件	１２１件	７７０件
７月	０件	２件	１１９件	８２２件
８月	０件	３件	１１６件	７７３件
９月	０件	１件	１１５件	７３８件
１０月	０件	５件	１１０件	７０５件
１１月	０件	３件	１０７件	６１１件
１２月	０件	７件	１００件	５７１件
１月	０件	０件	１００件	５１３件
２月	０件	１件	９９件	５４１件
３月	０件	１件	９８件	５２６件
合　計	０件	２５件	１，３２７件	７，５４７件

※令和３年３月３１日現在の利用者は９８人
（認知症の方５０人･知的障がい者の方１３人･精神障がい者の方３４人･その他１人）
※待機者数は２３名
（認知症の方１７人・知的障がい者の方３人・精神障がい者３人）

※認知症の方の利用希望者も多いが、近年は精神障がいの利用希望者が増加傾向である。

各地域福祉活動支援事業

地域における住民の支え合い・助け合い機能を強化する取り組みを支援することにより、地域福祉活動の推進と社会福祉事業の充実を図り、地域福祉の向上を目的として、区社会福祉協議会に委託されている。小学校区単位の小地域の支援からＮＰＯや企業の地域貢献に関することまで、幅広く支援をしている。

１　地域福祉活動等の支援

地域社協活動やサロン活動・見守り活動の支援をはじめ、自主団体の運営支援や地域福祉に関する周知・啓発活動を行った。

（１）地域活動者向け研修会

開催日：令和２年９月８日（火）

内　容：第１部　災害に強く優しいまちづくりについて

第２部　防災クッキング

（２）子育てサロンの支援

地域の子育てサロンを訪問、相談、助言を行うことで支援者と繋がり、支援者連絡会に積極的に参加して情報交換や他機関との連携を図った。

（３）地域社協や地域ネットワーク委員会の支援

総会への出席・研修会の開催など、地域福祉活動推進にかかわる相談助言

（４）自立支援協議会

障がい者支援を行う各事業所との連携

（５）区民まつりへの参加

令和２年度淀川区民まつりは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる。

（６）北中島まつりへの参加

アクションプランの「Ｄｏ！ほっこり市」から始まった、北中島まつりは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる。

２　淀川区民福祉のつどいの開催

地域福祉の推進のために、地域住民の福祉活動を拡げることを目的に、１０月１４日に淀川区民センターにおいて、「淀川区民福祉のつどい」を開催した。

開催日：令和２年１０月１４日（水）

内　容：第１部　「大阪市淀川区社会福祉大会」

長年にわたり地域で福祉活動に携わってこられた方々の功績をたたえた表彰と、善意銀行へ多額の預託をされた方々への感謝状の贈呈

第２部　映画上映会　「こんな夜更けにバナナかよ　愛しき実話」

３　「認知症の人にやさしい地域づくり」講演会の開催

認知症について正しく理解し、地域で支えあっていくため、共に学び考えていくことを目的に令和２年１１月２６日（木）に「９９歳母と暮らせば」の映画上映会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる。

４　区社会福祉施設連絡会の事務局運営

区社会福祉協議会が事務局となっている淀川区社会福祉施設連絡会では、区内約４８の福祉施設が会員となり、研修や情報交換等を行った。

《令和２年度実施事業》

総会（書面決議）：令和２年６月
役　　員　　会：２回（令和２年７月１４日、１１月２７日）
施　設　見　学：新型コロナウイルス感染拡大防止により中止
施 設 間 交 流：　　〃
研　　修：全国地域福祉施設研修会　「共生（とも）に生きる」zoom
令和３年２月２０日（任意参加）

５　「わいわいネットわーく」の事務局

区内で社会福祉活動している様々な団体・個人が、月に一度定例会を開催し、連携を深めながら人権・福祉・環境・文化のネットワークづくりを行っている。

“ほんまにやさしいまちづくり”を目的に、様々なイベントや勉強会を開催しており、区社会福祉協議会はその事務局として運営支援・協力を行うが、今年度は新型コロナウィルス感染症の影響により活動を自粛した。

６　「こども居場所ネットワーク」の事務局

区内でこども食堂や宿題ひろば、放課後活動などの主催者や今後立ち上げを考えている方、活動を応援したい方などが集まり、２カ月に１回定例会を開催し情報交換やマップを活用し広報活動を行い、区社協は事務局として運営支援を行った。

７　豊かな協働

ＣＰサッカー(脳性まひ７人制サッカー)と田辺三菱製薬との協働

毎年１回、福祉教育を兼ねスポーツを通じて障がいを理解する取り組みを実施していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

８　広報活動

（１）淀川区社会福祉協議会の広報紙として『淀川社協だより』を年２回発行した。

・第５７号（８月　４万９千部発行）
・第５８号（１月　４万９千部発行）
・広報部会開催（書面：7 月 10 日・8 月 7 日・12 月 7 日、対面会議：11 月 10 日）

（２）淀川区社会福祉協議会のホームページやフェイスブック、インスタグラムを活用し情報発信を行った。

※ホームページアドレス　　http://yodogawa.kusyakyou.or.jp

９　児童・青少年福祉活動

児童・青少年健全育成推進のため、区並びに地域の児童・青少年関係団体が行う事業に協力を行い、また助成した。

福祉教育推進事業として区内の小中学校などにおいて福祉教育を行った。

	実施日	受　講　者	内　　容
1	１０月　１６日	田川小学校　　３年生	車椅子体験
2	１０月　１６日	田川小学校　　３年生	福祉講和（聴覚障がい）
3	１１月　　６日	十三中学校　　１年生	車椅子体験・視覚障がい体験
4	１月　２０日	英真学園高校　１・２年生	車椅子体験
5	１月　２７日	英真学園高校　１・２年生	車椅子体験
6	２月　　３日	英真学園高校　１・２年生	車椅子体験
7	３月　１９日	木川南小学校　　４年生	車椅子体験

１０　認知症サポーターの養成

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりのため、区在住・在勤の方を対象に、認知症について正しい知識をもち、認知症の方やその家族を応援し、誰もが暮らしやすい地域をつくっていくボランティアを育成することを目的とする。

	実施日	開　催　団　体	参加人数
1	７月　１７日	保健福祉専門学校	１００人
2	１０月　３１日	淀川区社会福祉協議会	２８人
3	２月　　１６日	淀川区社会福祉協議会	１０人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた講座が中止や延期となり、開催回数が昨年度より減少

１１　防災訓練への参加

地域の防災訓練において、車椅子による要援護者体験をし、周知啓発を行った。車椅子の使い方や要援護者の気持ちを考える機会となった。

１２　災害ボランティアセンターに関する取り組み

災害時における、災害ボランティアセンターの運営や、地域内での自助・共助を円滑に進めるため地域住民と共に訓練を行った。

実施日	内　　容	対　象	参加人数
９月　６日	津波・高潮ステーション見学	地域住民	１８人
９月１９日	災害ボランティアセンターの役割について・ニーズとボランティアを組み合わせるマッチングカードゲーム	地域社協会長・防災リーダー・地域住民	４５人
１１月２８日	災害ボランティアセンターの運営・立ち上げ訓練	地域住民	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

ボランティア・市民活動センター事業

ボランティア・市民活動センターは地域住民が集い、学び、交流ができる機会を提供し、より多くの住民がボランティアや市民活動に参加できるよう周知を図っている。

今年度はコロナ禍の中でもボランティア活動を止めることがないように、活動の機会を提供し、ボランティアの裾野を広げるため写真コンテストの開催等に力を入れた。

１　コロナ禍におけるボランティア活動の支援

（１）コロナ禍でもできるボランティア活動の機会提供

ア　自宅でできるボランティア

緊急事態宣言や大阪府のレッドステージが出ているときに、自宅でできるラベル貼りやちらしの修正、スタンプ押しのボランティア活動を提供。

イ　フードドライブの寄付の呼びかけ

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて休業や失業に至り、食べ物を必要としている区民の支援をするため、やすらぎ通信やフェイスブック等により家庭で余っている食料の寄付の呼びかけを実施。

ウ　写真コンテストの開催

新型コロナウイルス感染症によりボランティア活動が制限されるなか、写真を通し人と繋がり、元気になってもらう写真コンテストを実施。気軽に参加できるボランティア活動のきっかけづくりにもなった。

（ア）よどがわスマイル写真コンテスト

応募期間：令和２年７月１日～３１日

内　　容：撮影テーマは「笑顔」。明るい話題を提供し、コロナ禍における漠然とした不安を解消してもらう。

対　　象：淀川区在住・在勤・在学

応募点数：２４点

受 賞 者：最優秀賞１点、優秀賞１点、特別賞３点

（イ）よどがわ秋の写真コンテスト

応募期間：令和２年１０月６日～３１日

内　　容：撮影テーマは「秋」。コロナ禍で外出機会が少なくなる中、区民の目を楽しませてくれる季節感ある写真を募集。

対　　象：淀川区在住・在勤・在学

応募点数：１６点

受 賞 者：最優秀賞１点、優秀賞１点、特別賞３点

（２）活動場所の支援

淀川区ボランティア・市民活動センターのボランティアルームを改修。これまで利用していた施設の休館等により活動ができなくなった団体に対し、定例会や活動場所の提供をした。

ア　淀川区音訳ボランティアグループ「こもれび」（音訳・手引き・朗読等）

イ　すみれ会（厨房・保育・認知症カフェ「オレンジ」・行事の受付）

ウ　SWS48（手話）

（３）認知症カフェ「オレンジ」の活動支援

令和２年下旬より活動を自粛していたが、令和２年１０月１日から密にならないように開催場所を会議室に変更し、参加者およびボランティアの検温や問診、新型コロナウイルス感染症の感染症防止対策、大阪コロナ追跡システムの導入をして再開した。

２　善意銀行　特定テーマ払出「福祉ボランティア活動応援資金」による活動支援

淀川区内で活動している福祉ボランティアを対象に募集。５団体が払出を受け、活動に必要な物品の購入や会場費等に活用した。

３　ボランティア登録・活動状況（令和３年３月３１日現在）

（１）ボランティア登録者数　　個人……１７０人

グループ ……２７グループ

（２）ボランティア活動状況（延人数）

・厨房（デイサービス）　　２３８人

・陶芸（デイサービス）　　０人　※令和２年度は開催中止

・認知症カフェ「オレンジ」　２３人　※令和２年 10 月１日～11 月 12 日に開催

・保育　　０人　※他機関からの依頼はあったが、全て中止

・その他　　７９人　※他機関・地域等の依頼

４　ボランティア交流会の開催

行 事 名：「令和２年度よっしゃー！やるっちボラ交流会」

日　　時：令和２年３月２４日（水）午後１時３０分～４時

対　　象：ボランティアに興味がある方、淀川区ボランティア・市民活動センターに登録している個人ボランティア・ボランティア団体

目　　的：ボランティア同士の交流を通し、お互いの活動や想いを知り、各自のボランティア活動に活かすことや横の繋がりをつくることを目的とする。また勉強会では障がい理解を深めるとともに、円滑な人間関係を構築するためにノンバーバルコミュニケーションである手話を学び、各自のボランティア活動に活かしてもらう。

内　　容：第１部　勉強会①「手話から学ぶ！心のバリアをぶっ壊せ」

講師：一般社団法人手話エンターテイメント発信団 oioi

勉強会②「災害時の聴覚障碍者への配慮とは？」

講師：手話サークル「葦の会」

第２部　交流会
第３部　事務連絡
※ろう者の参加もあったため、手話通訳を付けて開催した。
参 加 者：会場参加者人３６人（オンライン同時開催）
開催場所：大阪ガーデンパレス　２階　葵の間

５　居場所づくりの開催

（１）居場所づくり・集いの場「第２回ゆっくりくるり」
日　　時：令和２年８月２５日（火）　午後２時～４時
目　　的：日常生活において手助けを必要とし、生きづらさを感じている方に対して地域の中で居場所を提供。人との触れ合いを通し、社会とつながることを楽しみ、生きる活力を得る。
内　　容：ボランティアや支援機関のサポートを受けながら参加者同士がアイスブレイクや談話を通し交流を深めた。またボランティアによるオカリナやピアノ演奏を聴き、楽しい時間を共有した。
対　　象：精神疾患のある方、引きこもりがちな方、若年性認知症の方など
参 加 者：１０人
支 援 者：４人（淀川区生活自立相談窓口、地域生活支援センターえんじょい、大阪府社会福祉協議会施設福祉部社会貢献推進室）
ボランティア：３人
開催場所：淀川区在宅サービスセンター やすらぎ　３階会議室

（２）居場所づくり・集いの場「第３回ゆっくりくるり」
令和２年１２月２２日（火）午後２時～４時にボランティアによる弦楽器とピアノ演奏の内容で開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期。代わりに参加予定者や「ゆっくりくるり」の対象者である２１名にボランティアの協力を得て作成したクリスマスカードを発送した。

６　啓発・広報活動

（１）ボランティア情報紙「やすらぎ通信」を毎月１回発行。区内の公共施設や福祉施設各地域の社会福祉会館、スーパー等に設置している。
（２）ボランティア活動を広めるために「淀川社協だより」、「よどマガ！」、ホームページやフェイスブックを活用し、ボランティア関連の情報を発信した。

青色防犯パトロール事業

令和３年３月３１日現在、講習を受けられた５地域の運転ボランティアの方々が青色防犯パトロール車で地域を巡回している。

地域での犯罪抑止に貢献し、地域防犯・安全に寄与することを目的に実施した。

１　青色防犯パトロール実施状況

地　　域	実　　施　　日	活動回数
宮　　原	毎週火曜日（月４回～５回）	３２回
西 中 島	毎週４水曜日（月４回～５回）	０回
北 中 島	第２・第４金曜日（月２回）	１３回
木　　川	毎月第１・第３月曜日（月２回）	１３回
野　　中	毎月第３・第４木曜日（月２回）	６回

※新型コロナ感染拡大防止により、車内密を避けるため乗車人数や活動を自粛

２　地域運転ボランティア「青色防犯パトロール講習会」実施

※年２回春・秋に講習会を実施していたが、今年度は新型コロナウィルス感染拡大防止の為、講習会は中止となる

地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

少子高齢化、社会的孤立の広がり、生活課題の複雑・多様化、地域コミュニティの衰退が課題となっているなか、平成２７年より地域におけるよりきめ細やかな見守りネットワークの実現をめざす事業として「見守り相談室」を設置しております。

１　要援護者情報の整備・管理

行政が保有する要援護者情報を活用し、見守り活動に実用的な「要援護者名簿」を作成している。年１回郵送で同意確認し、同意確認が取れなかった方には区内各地域に配置している見守り支援員が、ポスティングによる同意確認を行った。また、見守り支援員の役割は地域の生活者という立場もあり各地域で孤立世帯の早期発見にもつながる支援を行っている。

要援護者名簿の理解については、各地域団体に対して見守り活動の推進に向け地域の実情に合わせた説明会を行い、名簿提供をすることができた。

２　孤立世帯等への専門的対応

見守り支援ネットワーカー(コミュニティソーシャルワーカー)を区内地域包括支援センター圏域ごとに４名配置している。また、区内 18 地域の支援員と連携し、身近な相談窓口としての強化を図り、顔の見える関係づくりをすすめている。相談において地域包括支援センター・障がい相談支援事業所などの専門機関や民生委員・町会長など地域の活動者と、孤立世帯へ支援ネットワークを構築しながら適切な支援へとつないでいる。

今年度は新型コロナウイルス感染症による失業、子育て世代の生活困窮相談が増加し、複合的な課題を抱えている方の相談が多くあったため、多くの課題を抱える世帯に対して専門機関とケース会議を重ね、多職種連携をしながら支援を行うことができた。

相談件数				
訪　問	電　話	来　所	その他	合　計
１，１１１件	２，９５６件	４４５件	８０件	４，５９２件

相談内訳					
経済・生活問題	福祉サービス	保健・医療	介護	子育て	就労
２，４９３件	３８４件	３１８件	３７件	７８件	１件
いきがいづくり	虐待	家族問題	見守り訪問	ごみ屋敷	その他
１１８件	３９件	１３６件	２５２件	７０件	１，３１２件

３　認知症等の行方不明時の早期発見

徘徊高齢者等の早期発見システム「見守りメール」について周知を図ることにより徐々に認知されてきており、事前登録の依頼や相談が地域住民や居宅介護支援事業所地域包括支援センターから増えている。

また、警察が保護した方の中で認知症の疑いがあり、適切な支援につながっていないと思われる方の情報提供（認知症高齢者等支援対象者情報提供制度）の対応を行ってきた。今後も警察、関係機関と連携し安心して暮らせる地域を目指していく。

	協力者種別					
	本市事業委託機関	介護保険制度関係団体	医療関係団体	地域関係団体	民生委員児童委員	その他
協力者数	２１件	４件	１３件	０件	１５８名	２６件

登録者合計	性別内訳		年齢内訳			
	男	女	65 歳未満	65～70 歳未満	70～75 歳未満	75 歳以上
４６名	３０名	１６名	２名	１名	３名	４０名

	行方不明発生状況（登録者）	発見状況（登録者）	
	発生件数	区　内	府　下
合計	２件	２件	０件

生活支援体制整備事業

高齢者が安心して住みやすいまちづくりを目指し、地域住民や関係団体と連携してささえあい活動の推進や介護予防・生活支援の充実を図る事業である。

集まれなくてもつながる方法を模索し、元気ですか通信や写真コンテスト、マップや広報誌を作成するなど、コロナ禍でできることを実施し、つながりが途切れることなく、暮らしを気にかけあうことのできる方法を地域や関係団体と取り組んだ。

１　ニーズと地域資源の把握・ネットワーク構築

（１）協議体の開催

日　時：令和３年３月２２日（月）

参加者：淀川区役所保健福祉科、市民協働課、まちづくりセンター、オレンジチーム、各地域包括支援センター

内　容：事業報告や次年度の事業計画及び第２層生活支援コーディネーターを説明意見交換を行い、各専門職との情報共有やネットワーク構築を図った。

（２）地域活動協議会定例会へ参加

区社協事業の取り組みを発信すると同時に、地域での取り組みを情報収集し、多様な団体と顔の見える関係づくりに努めた。

（３）「元気ですか通信」の発送

地域活動の中止や外出自粛が長期化する中、地域での暮らしを調査し、つながりを絶やない仕掛けとして、状況を調査する返送はがきと社協事業のチラシ等を発送。発送先は、地域の食事サービス利用している方１，６４９名、老人福祉センターに登録している方７３０名。

２　地域資源・サービスの開発

（１）認知症カフェの立ち上げ支援

淀川区オレンジチームと認知症カフェ立ち上げボランティア養成講座を開催。（１０月６日、１０月９日）認知症カフェ開催予定のフリースペースは感染症対策が十分に取れず、新たな活動場所を模索中である。養成講座開催以降は、準備期間として参加メンバーと思いを共有するミーティングの場を開催した。

（２）スマホ教室の開催

老人福祉センターとアンケート調査を実施し、スマホへの関心が高いことが分かったため、老人福祉センターとボランティア・市民活動センターとスマートフォン講習会を合同開催した。（３月１０日、３月１１日）

次年度は、スマートフォンの使い方を教えるサークル化の立ち上げを見据え、スマホボランティア養成講座を開催予定。

（３）よどがわ映画サロンの継続支援

NPO 法人と協力し、誰もが参加し楽しむことができる映画サロンの自主運営に向けた取り組みを支援している。世話人同士での話し合いが進むことでそれぞれの役割分担ができている。開催回数を重ねることで、地域活動としても定着しつつある。

（４）転倒予防運動教室の開催

履正社専門学校と連携し、講師・学生による運動教室を開催

第１クール	開催日	７月１４日～８月４日 午前１０：３０～正午　午後１：３０～３：００
	参加者	午前６人　　午後６人
第２クール	開催日	９月２９日～１２月１５日 午前１０：３０～正午　午後１：３０～３：００
	参加者	午前６人　　午後６人

３　活動の場の発掘・開発

（１）よどがわ写真コンテストの開催

写真を通して人とつながり、元気になってもらう写真コンテストをボランティア・市民活動センターと共同開催。（テーマ「笑顔」募集期間：７月１日～３１日、テーマ「秋」募集期間：１０月６日～３１日　）

（２）淀川区版今年の漢字募集の開催

誰もが参加しやすいテーマとして、淀川区地域包括支援センターと共同開催。最多集計された漢字はボランティアによって清書され、区社協１階で掲載した。（募集期間１２月９日～１２月８日）

４　サービスや実施情報などの周知

（１）「淀川まるっとかわら版」の発行

生活支援コーディネーターの取り組みや地域活動の情報を発信する機関紙を発行した。

（２）つながり・交流の場マップの作成

地域や南部包括支援センターとともに地域資源を整理し、地域資源を見える化を行った。

（３）出張！かけはし相談室の開催

在宅医療介護連携コーディネーター、チームオレンジ、西部包括支援センターと連携し、商店街にて出張相談室を開催した。（１０月３１日）

生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金貸付制度は、低所得者、障がい者又は高齢者を対象に資金の貸し付けと必要な相談・支援また民生委員による必要な生活支援を行うことにより、経済的自立及び安定した生活を送れるようにすることを目的とした貸付制度である。

令和２年３月から新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少し生活が困窮していることを踏まえ、貸付の対象世帯を拡大し生活福祉資金の特例貸付を実施している。

総合支援資金・・・失業や減収により生活再建のため継続的な相談支援を必要とし、貸付を行うことにより自立が見込まれる世帯に対し、資金を貸付けることにより、世帯の自立を支援。

福祉資金　　・・・低所得者、障がい者または高齢者の世帯に対し、資金の貸付を行うことで経済的自立・生活意欲の助長促進・社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的とするもの。（１３項目の貸付項目がある）

教育支援資金・・・「生活保護世帯」、府市町村民税「非課税世帯」などの低所得者世帯を対象にし、学校教育法に規定する高校、短大、大学、高等専門学校に就学するのに必要な経費について無利子で貸付を行う制度。

１　生活福祉資金・総合支援資金・つなぎ資金受付件数

	生活福祉資金	総合支援資金	つなぎ資金
４　月	０件	０件	０件
５　月	０件	０件	０件
６　月	２件	０件	０件
７　月	１件	０件	０件
８　月	１件	０件	０件
９　月	２件	０件	０件
１０月	２件	０件	０件
１１月	１件	０件	０件
１２月	３件	０件	０件
１　月	１件	０件	０件
２　月	３件	０件	０件
３　月	４件	０件	０件
合　　計	２０件	０件	０件

２　特例貸付受付件数

	緊急小口資金	総合支援資金	総合支援資金（延長）	総合支援資金（再貸付）
４　月	５９９件	０件		
５　月	７５８件	７７件		
６　月	６５１件	４８６件		
７　月	２９１件	３９０件	４件	
８　月	２６９件	２１６件	４２０件	
９　月	２６９件	２６５件	２６８件	
１０月	１７３件	２０３件	２２７件	
１１月	１０５件	９０件	１６２件	
１２月	１２８件	１０３件	１６０件	
１　月	１２１件	９３件	７１件	
２　月	２５４件	１５４件	８４件	８４件
３　月	２１０件	２４６件	７１件	２０４件
合　　計	３，８２４件	２，３２３件	１，４６７件	２８８件

生活困窮者自立相談支援事業

平成２８年４月から、社会福祉法人みなと寮と共同体を構成し、区役所３階にて、みなと寮から主任相談支援員１名、相談支援員４名の計６名を配置し、相談対応を行い、地域との連携やアウトリーチ及び週１回、区社会福祉協議会から職員を派遣している。

関係機関との連携を図り、生きづらさを抱える方の理解と啓発活動にも取り組み、相談を受け就労に繋いだ件数が市内においても多く、自立への成果がみられた。

また、善意銀行事業として、持ち金もなく制度にもつながらず、食べ物に困る人を対象とし、一人１回限り２，０００円までの食料を手渡す「緊急生活食糧支援事業」と就職は無理でもボランティア活動を希望される生活困窮者へ５回を限度として１回１，０００円を支給する「ボランティア奨活金」の２種類の社会資源を創出し、相談対応の幅を広くした。

	男	女	延人数	就労者数
４　月	１１４人	７３人	３１８人	１人
５　月	２３人	１８人	１６３人	３人
６　月	２７人	１５人	１４１人	２人
７　月	２２人	１８人	８７人	９人
８　月	１８人	１４人	８２人	７人
９　月	１９人	１１人	７５人	３人
１０月	１７人	１１人	６８人	６人
１１月	１４人	１４人	９１人	２人
１２月	２１人	１６人	８１人	３人
１　月	１７人	１６人	８２人	３人
２　月	１６人	１４人	７６人	５人
３　月	２４人	１８人	１１５人	６人
合　　計	３３２人	２３８人	２，５３７人	５０人

※住宅確保給付金申請者６８９名（内窓口申請者４０４名）

介護予防事業

区社会福祉協議会は介護予防教室（なにわ元気塾）を実施している。

生活機能の低下が認められる高齢者や閉じこもりがちな高齢者を含め、すべての高齢者が、定期的（月１回）教室に参加し、地域の人と交流の機会をもつことで認知機能や生活全般の活性化を図る。

また教室の参加をきっかけとして外出の機会を増やすなど、自分らしい活動的な生活を送ることが出来るよう支援する。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、大阪市からの中止要請や、地域会館の使用制限により介護予防教室が中止になったことから、電話による安否確認やお手紙の送付等つながりを絶やさないよう活動した。

地域名	登録者数	開催曜日・時間
東三国①	１２人	第３火曜日　　午前１０時～
新東三国②	１４人	第２火曜日　　午前１０時～
東三国	９人	第１水曜日　　午後　２時～
北中島	２１人	第４火曜日　　午前１０時～
宮原①	１８人	第１月曜日　　午前１０時～
宮原②	１３人	第３月曜日　　午前１０時～
西三国	１５人	第４木曜日　　午後　２時～
三国①	１８人	第２水曜日　　午後　２時～
三国②	１５人	第２金曜日　　午後　２時～
新高	１８人	第１水曜日　　午前１０時～
西中島	１５人	第２水曜日　　午前１０時～
木川	１８人	第１月曜日　　午後　２時～
木川南	１２人	第３水曜日　　午後　２時～
十三	１３人	第３月曜日　　午後　２時～
野中	１０人	第４月曜日　　午後　２時～
神津	８人	第１木曜日　　午後　２時～
新北野	２０人	第３木曜日　　午後　２時～
塚本	１９人	第３水曜日　　午前１０時～
田川	１９人	第４水曜日　　午後　２時～
三津屋①	１２人	第２木曜日　　午後　２時～
三津屋②	１０人	第２火曜日　　午後　２時～
加島①	１４人	第１木曜日　　午前１０時～
加島②	１８人	第１火曜日　　午前１０時～
加島③	１２人	第１金曜日　　午前１０時～
合　　計	３５３人	１８地域　　２４か所

通所介護（デイサービス）事業

介護保険認定による要介護１～５、要支援１・２と認定された方やその家族の方と契約し、住み慣れた地域で日常生活を営むことができるよう、通所介護サービス計画に基づき、健康チェックや安全な入浴、食事、日常動作の機能訓練（トイレ誘導など）レクリエーション（運動機能訓練)、自宅までの送迎などのサービスを提供している。

通所介護サービスは、介護保険制度の根幹ともいえる在宅介護を支える重要な役割に位置づけられている。他の介護サービスや医療サービス、地域との連携や情報交換などの在宅支援も求められている。

また、地域中学校の職場体験、淀川区看護専門学校、福祉専門学校や大学などの実習の受け入れや地域ボランティアサークルの活動の場、介護ポイント事業の受け入れ施設としての役割も担っている。

高齢化社会を迎え、介護度の高い利用者が増加し、医療的処置が必要な利用者や、認知症利用者も増加し、契約者数の９割を占めている。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じ、休止することなくサービス提供をした。

１　契約者の年齢別状況

	60～69 歳	70～79 歳	80～89 歳	90 歳以上	合　計
男	２人	１人	１人	１人	５人
女	０人	２人	１４人	３人	１９人
合　計	２人	３人	１５人	４人	２４人

２　契約者の介護別状況（契約者数は各月末時点）

	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	要支援１	要支援２	合　計
４　月	７５人	５０人	２６人	３８人	４人	４人	９人	２０６人
５　月	７２人	４４人	２３人	１９人	４人	３人	８人	１７３人
６　月	８１人	５７人	３６人	１０人	５人	５人	９人	２０３人
７　月	７５人	５２人	３７人	１７人	９人	９人	８人	２０７人
８　月	７０人	４８人	３３人	１１人	９人	８人	９人	１８８人
９　月	７２人	５３人	４５人	１６人	９人	１１人	７人	２１３人
１０月	５９人	６１人	４８人	２０人	９人	７人	１８人	２２２人
１１月	５６人	４３人	２９人	１８人	４人	８人	１７人	１７５人
１２月	４７人	３３人	２８人	２１人	５人	８人	１５人	１５７人
１　月	４１人	３１人	２０人	１９人	１人	８人	１６人	１３６人
２　月	３８人	３６人	２３人	１９人	３人	１５人	１６人	１５０人
３　月	３９人	４８人	２７人	１８人	９人	１９人	２２人	１８２人
合　計	７２５人	５５６人	３７５人	２２６人	７１人	１０５人	１５４人	２，２１２人

３　利用状況（延利用者数）

	開設日数	１日平均 利用者数	新規契約者数	月末契約者数
４　月	２１日	９．８人	１人	２１人
５　月	１９日	９．１人	０人	２０人
６　月	２２日	９．２人	３人	２１人
７　月	２１日	９．８人	１人	２４人
８　月	２０日	９．４人	１人	２３人
９　月	２０日	１０．６人	１人	２４人
１０月	２２日	１０．０人	２人	２５人
１１月	１９日	９．２人	１人	２５人
１２月	２０日	７．８人	０人	２２人
１　月	１９日	７．１人	０人	２０人
２　月	１８日	８．３人	２人	２３人
３　月	２３日	７．９人	４人	２６人
合　計	２４４日	９．０人	１６人	

４　サービス内容別延利用者数

	食事サービス	入浴サービス	減免対象者
４　月	１９５人	１９５人	０人
５　月	１６３人	１６６人	０人
６　月	１９０人	１９３人	０人
７　月	１９６人	１９８人	０人
８　月	１７７人	１８１人	０人
９　月	２０１人	１９５人	０人
１０月	２１１人	２０６人	０人
１１月	１６４人	１７３人	０人
１２月	１５４人	１５６人	０人
１　月	１３６人	１３６人	０人
２　月	１５０人	１４８人	０人
３　月	１８２人	１７８人	０人
合　計	２，１１９人	２，１２５人	０人

地域包括支援センター事業

◆担当圏域内第１号被保険者数（　１２，３３１　）人

１　総合相談支援事業

高齢者やそのご家族、地域の支援関係者からさまざまな相談をうかがい、適切なサービス・支援につないだ。

（１）総合相談件数

実　人　員	８９５人

相談延人員（相談内容）	相談延人員	認知症疑いあり人員	認知症疑あり割合
家族・家庭問題	１６６人	６７人	４０．３％
経済・生活問題	２，１９７人	１，１０４人	５０．２％
介護サービス	２，２５９人	７８８人	３４．８％
介護予防サービス	６６０人	７５人	１１．３％
介護予防事業	１４人	１人	７．１％
福祉サービス	４２７人	５０人	１１．７％
保健・医療サービス	８０９人	４５７人	５６．４％
虐待	３４８人	２４２人	６９．５％
成年後見制度	１４８人	１２０人	８１．０％
生きがいづくり	１５人	１０人	６６．６％
その他	１４０人	３８人	２７．１％

（２）会議開催・参加状況

地域ケア会議の開催	４２回
総合相談窓口（ブランチ）連絡会議	１２回
地域密着型サービス運営委員会への参加	４回
ネットワーク構築のための会議開催・参加	６７回
区運営協議会への出席	３回
サービス利用者調整会議	５３回
自立支援型ケアマネジメント検討会議	１２回
その他地域との関係づくり等	５２回
合　　計	２３９回

２　包括的継続的ケアマネジメント

地域の介護支援専門員が困った時には個別に相談に応じ、研修会・連絡会を開催し、地域の関係者同士が協力しやすい体制づくりに取り組んだ。

介護支援専門員個別相談件数	１，０７３件
居宅介護支援事業者連絡会の開催・参加	５回
介護支援専門員への研修会の開催	５回

担当圏域内居宅介護事業者数　（１５）か所

３　権利擁護

高齢者虐待の早期発見・防止、高齢者の権利を守るために相談に応じた。

受理件数　　２３件

４　第１号介護予防支援事業（総合事業における介護予防ケアマネジメント）

事業対象者の状態やニーズをもとにアセスメントを行い、自立支援につながる介護予防ケアマネジメントを実施した。

第１号介護予防支援ケアプラン作成状況

	原則的介護予防 ケアマネジメント	初回のみ ケアマネジメント
包括支援センター分	１，３７３件	０件
一部委託分	３，６６４件	０件
計	５，０３７件	０件
（委託率　%）	７２．７%	０件

５　ケア会議から見えてきた課題への取り組み

【ケア会議から見えてきた課題】

・介護をする家族、支援者が本人のケアを抱え込み疲弊し、適切なサービスにつながらず虐待に至っているが、「虐待」という言葉への抵抗が強く、相談に上がりにくい。

・若年性認知症など若い世代の相談が増加し、介護保険につなぐ前の支援が増加。

・建物の老朽化、家賃滞納、認知症などで自宅から立ち退かざるを得ないが独居、身寄りなし等で支援が必要な事例が増加。

【取り組み】

・包括の周知のため町会や集合住宅掲示板、店舗等にポスター掲示した。

・コロナ禍であるが、オレンジチーム、在宅医療介護連携相談室、生活支援コーディネーター、ブランチで少規模の多職種連携会議を定期的に開催し、連携強化した。

・コロナ禍であり、限られた地域であるが高齢者虐待の学習会を行い、周知を行った。

淀川区老人福祉センター事業

高齢者に関する各種の相談に応じ、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を供与するとともに、地域福祉活動を支援した。

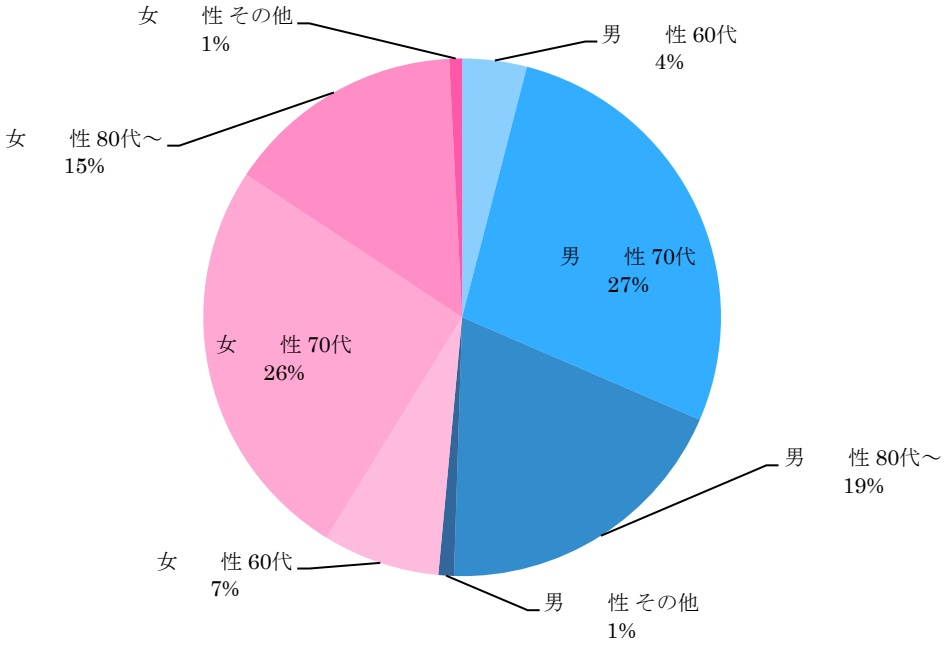
今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、年度当初から６月１８日まで臨時休館、また今年１月１５日～２月２８日までは、介護予防関係事業以外の利用を制限することとなった。臨時休館中は、職員の電話相談やセンターだよりを郵送するなど、利用者とのつながりを絶やさぬような取り組みをした。

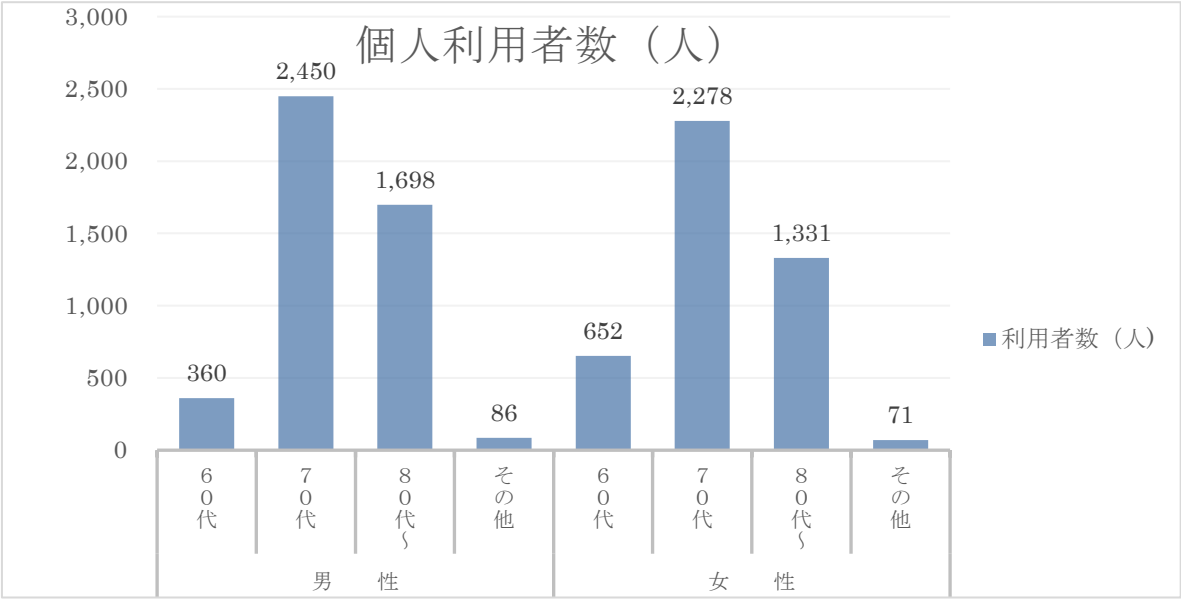
１　利用者数

個人利用者数（年代別・性別利用者数）

	６０歳代	７０歳代	８０歳代以上	その他	合　計
男	３６０人	２，４５０人	１，６９８人	８６人	４，５９４人
女	６５２人	２，２７８人	１，３３１人	７１人	４，３３２人
合計	１，０１２人	４，７２８人	３，０２９人	１５７人	８，９２６人

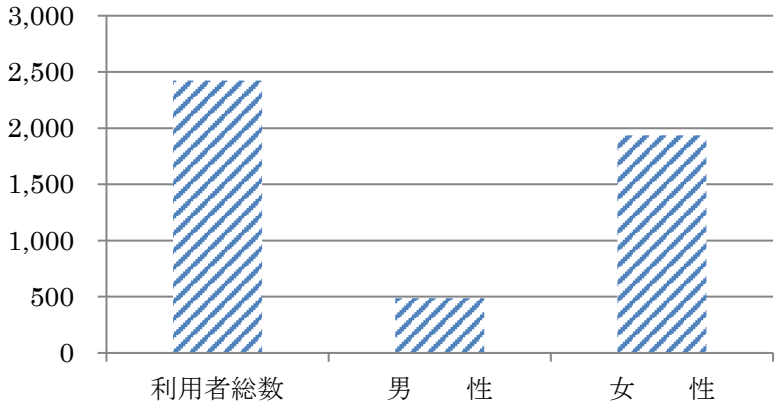
利用者数内訳





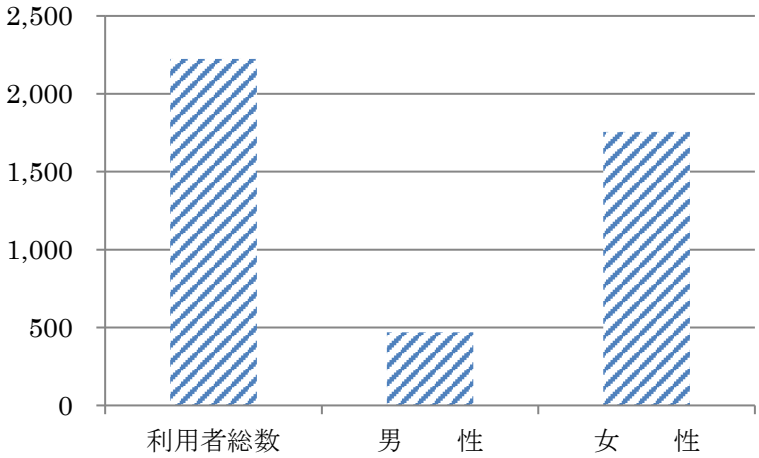
○サークル活動利用者数（同好会含む）

	利用者数
男	487 人
女	1, 935 人
合計	2, 422 人



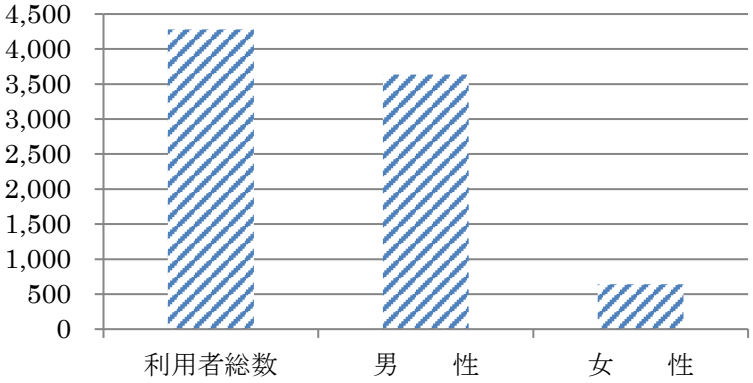
○事業・講座参加者数

	利用者数
男	469 人
女	1, 755 人
合計	2, 224 人



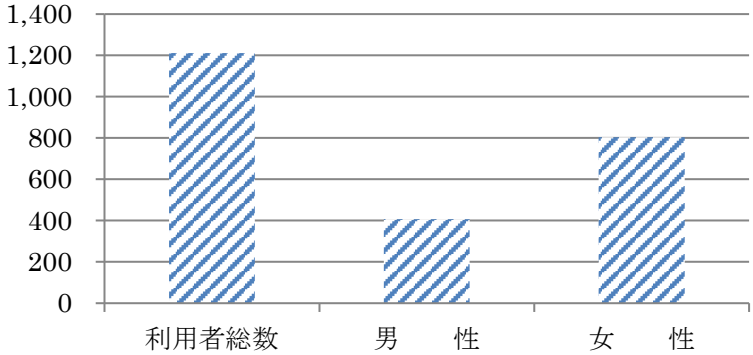
○通常利用者数（囲碁将棋・バンパー・ロビー利用）

	利用者数
男	3, 638 人
女	642 人
合計	4, 280 人



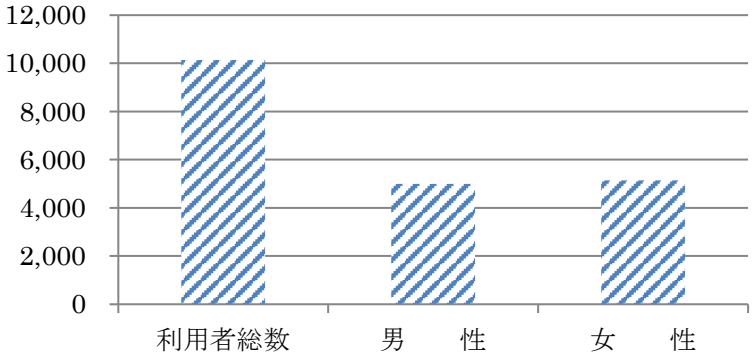
○団体利用者数（老人クラブ等）

	利用者数
男	407 人
女	804 人
合計	1, 211 人



○利用者数合計（個人利用者数８，９２６人＋団体利用者数１，２１１人）

	利用者数
男	5, 001 人
女	5, 136 人
合計	10, 137 人



２　事業実施内容

（１）　生きがいづくり活動

ア　教養講座、生きがいづくり支援講座など

事　業　名	回数	人数	開　催　日　など
俳句・川柳大会	１回	１３人	11/13　出展数俳句 15、川柳 24
文化祭・作品展	１回	６８人	11/13
スマートフォン講座	２回	３４人	3/10・11
絵手紙教室	１回	６人	3/15

※新型コロナウイルス感染症拡散防止のため、パソコン講習会、ボウリング大会、お出かけ企画バスツァー、盆踊り大会、楽しい新年会は中止。
代替え事業として、認知症サポーター養成講座、終活セミナーを開催。

イ　高齢者の居場所づくりの充実

和室とロビーでの囲碁・将棋、バンパーなどで憩いの場として毎日開放

日頃の練習の成果を発揮する場を設定するため次の行事を実施した。

事　業　名	回数	人数	開　催　日
区長杯囲碁・将棋大会	１回	１２人	9/24
館長杯囲碁大会	１回	１０人	10/27
館長杯将棋大会	１回	１８人	10/29
館長杯バンパー大会	１回	１３人	10/30

※館長杯囲碁・将棋・バンパー大会は、2回予定していたがコロナウイルス感染症拡散防止のため１回ずつ開催。

ウ　センターボランティアなど活動支援(年間２４回、１３８人)

活動名称	内　　容
ボランティアミーティング	行事への取組み、情報交換を目的に、定期的に開催
百歳体操、各種講座、行事	受付業務、準備、事業実施時の見守り
センターだより	折込作業や地域集会所などへの配付
その他	囲碁・将棋対面用感染防止用シート製造、設置 年末大掃除、臨時休館から開館にあたっての準備
健康麻雀	ボランテイア市民活動センターと協力し、講師のアシスタントとして活動の場を提供
認知症サポーター養成講座	８月２５日実施。認知症の方を地域で支えるボランティアを養成する講座。　参加者１０名
・「パソコンサークル」の講師とアシスタント ・「囲碁大会」「将棋大会」「バンパー大会」の審判 ・各種講座の受付、準備、片付け等 ・大掃除	

エ　世代間交流の推進

毎年実施の「淀川フェスティバル」、子ども・子育てプラザとの「昔遊び」、さらに「子ども文化まつり」も中止になったため、代替え事業として、感染対策を徹底したうえで、区民センター、こども会、老人クラブ等関係機関と連携し開催した。

事　業　名	回数	人数	開　催　日
こどもスポーツ体験	１回	１４０人	11/15

オ　サークル活動支援等

事　　業　　名	回数	参加人数	備　　考
３Ｂ体操①②	１９回	１３６人	第２・４月曜日　午前 9:30～10:45 午前 10:55～午後 0:10
囲碁	２３回	２２７人	毎週木曜日　午前 10:00～正午
うたごえ①	１回	１３人	第１・３火曜日　午後 1:30～3:00
うたごえ②	０回	０人	第２・４金曜日　午前 10:30～正午
絵手紙	４回	２２人	第２木曜日　午後１：30～3：30
大人の塗り絵	１３回	８６人	第２・４土曜日　午後 1:30～3:30
健音歌体操①	１５回	２４５人	第１・３水曜日　午前 10:00～11:30
健音歌体操②	１３回	１４６人	第２・４水曜日　午前 10:00～11:30
詩吟	１回	８人	第２・４火曜日　午後 1:00～4:50
社交ダンス	０回	０人	第１・３木曜日　午前 10:00～正午
大正琴	８回	４６人	第１・３金曜日 午前 10:00～午後 0:30
デジカメ	４回	２３人	偶数月第１木曜日　午後 1:30～3：30
俳句①	７回	５５人	第１土曜日　午前 10:00～正午
俳句②	８回	６０人	第１土曜日　午後 1:00～3:00
パソコン初級	１４回	８７人	第１・３金曜日　午後 2:30～4:00
パソコン中級	１４回	８０人	第１・３金曜日　午後 0:30～2:00
パソコン勉強会	１４回	１５２人	第１・３金曜日　午前 10:00～11:30
パッチワーク	１０回	６１人	第１・３水曜日　午前 10:00～正午
フラダンス	１５回	２２２人	第２・４金曜日　午後 1:30～3:30
民踊	１２回	３８９人	第１・３火曜日　午後 1:30～3:30
民謡①	０回	０人	第１・３火曜日　午前 10:00～正午
民謡②	２回	２６人	第１・３木曜日　午前 10:00～正午
笑いヨガ	０回	０人	第２・４水曜日　午後 1:30～2:45
ボランテイアミーテイング	５回	５３人	第３木曜日　午後 2:40～3:40
ボウリング	２７回	２０３人	毎週火曜日　正午～午後 1:30
ボランティア活動他	２１回	８２人	不定期に活動
サークル世話役会他	１０回	１７６人	６月、８月、９月、11 月、３月
囲碁同好会	毎日　午前 10:00～午後 5:00		
将棋同好会	毎日　午前 10:00～午後 5:00		
バンパー同好会	毎日　午前 10:00～午後 5:00		

※うたごえ、詩吟、社交ダンス、民謡、笑ヨガは新型コロナウイルス感染症拡散防止のため活動自粛

（２）　健康づくり介護予防の推進

事　業　名	回数	人数	開　催　日
百歳体操	１６８回	１，３９２人	毎週火曜日
介護予防運動鍼灸ケア教室	３０回	２０５人	7～8 月、10～12 月の土曜日
健康麻雀	４回	４８人	7/20. 10/19(各 2 回)
8020 歯科健診 (歯科医師会と共催)	１回	２１人	7/29
座って楽しむ脳トレ体操	１回	２７人	3/12
脳トレ活用タイム	１回	３人	3/17

※百歳体操は、コロナウイルス感染症拡散防止のため参加者人数を削減して実施しなければならないため、新たに２クラス増設し、４クラスで実施した。
さらに、１月１５日～２月２８日までは、大阪市の指示により活動を全面的に自粛しなければならないが、百歳体操は、実施可能とのことであったので、空き室を活用し３月末まで水・木・金曜日にも臨時的に百歳体操を実施した。

（３）　相談、情報提供の充実

ア　相談事業

事　業　名	回数	人数	開催日
生活お役立ち講座「車いすとアイマスク体験」	１回	５人	6/23
生活お役立ち講座「血圧百科・血圧サージってなあに？」	１回	１０人	10/22
終活セミナー「エンディングノートを書きましょう」	１回	１３人	9/2
ちょいかつ！スマホ…スマホの簡単な操作を職員が教える			
防犯、特殊詐欺など啓発…百歳体操・囲碁・将棋参加者に、講話やＤＶＤによる啓発を年間数回実施。			

イ　身近な相談体制づくり

・新型コロナウイルス感染症による休館や利用制限中は、職員による電話相談を実施。日々の悩みや話し相手となり繋がりづくりに努めた。
・「ご意見箱」を設置しセンター利用の希望や、苦情等直接相談しにくい利用者への配慮を行った。
・相談しやすり体制づくりのため、日頃より利用者とのコミュニケーションに努め、気軽に話してもらえるように心掛けている。
・センター内で解決しにくい事柄については、各種専門機関(区役所、包括支援センターなど)に協力を求め、連携を図った。

ウ　広報活動

・センターの周知を目的に、区内のスーパーマーケットや医院、薬局等にセンターだよりを設置し、センターだより配布先の拡大に努めた。

・区広報誌へ毎月の行事を掲載、また区社協の各事業で発行する情報誌にも掲載し、広く周知に努めた。

（４）　老人クラブ活動の支援

・センターだよりに区老連だよりを折り込んで配付

・共催事業の実施（ペタンク・グランドゴルフ）

※ディスコン大会、シャフルボード大会は、新型コロナウイルス感染症感染拡散防止のため中止した。

その他の地域福祉推進事業

１　高齢者等福祉活動

（１）各地域敬老月間事業の助成

ア　区社会福祉協議会から各地域主催の敬老会行事等に助成を行った。

イ　善意銀行から各地域社協へ払出を行った。

（２）金婚夫婦お祝い事業

金婚夫婦に対し、お祝い品の贈呈をした。

（３）区内高齢者訪問事業

９月に区社会福祉協議会と区役所が１００歳を迎える高齢者に、長寿を祝福して記念品を贈呈した。

２　各種団体への助成

子供会連合協議会等の各種団体が行う事業に対し助成金を交付した。

３　組織・運営の強化事業

（１）淀川区福祉基金の充実

区社会福祉協議会の経営基盤を充実させるため、基金の活用を行った。

（２）会員の充実

幅広い活動を展開するために、会員の充実を区民並び区民各事業所に広く呼びかけ、地域福祉に対する意識の効用を図った。

４　後援などの事業

（１）共催　　こどもスマイリング・プロジェクト

開催日：令和３年２月２０日（土）

内　容：「職業体験型食育プログラム」の提供を通じて、食品ロス削減を含むエシカル消費を学び、「食」を楽しむ。

共催先：公益社団法人　大阪府理学療法士会

（２）協力　　ひきこもり講演会・相談会

開催日：令和３年５月８日（土）

内　容：「ひきこもり講演会・相談会」

協力先：一般社団法人マノ・ア・マノ

５　社会福祉士養成のための実習受入れ事業

社会福祉士の養成のため、同資格取得に必要な「社会福祉援助技術現場実習」における実習先として、養成校と連携しながら実習生７名の受入れを行った。

６　就労訓練事業

中間就労支援事業所を通じて、４名の精神疾患の訓練生の受入れを行った。

７　こどもレスキュー事業【新規】

新型コロナウイルス感染症等の影響により、生活に困窮した世帯に対し、区内企業からの寄付を原資に「こどもレスキュー事業」を立ち上げ、中学生までの子どもを養育している世帯に対し、家賃等を補助する経済的支援または食糧支援を行った。

経済的支援の主な支援内容は、家賃や水道光熱費の生活維持に関する支援や、制服の購入、給食費の支払い等学校生活に関する支援であった。

支援状況（令和３年３月３１日時点）

	経済的支援	食糧支援	合　　計
件　　数	３９件	２９件	６８件

社会福祉法人　大阪市淀川区社会福祉協議会

令和３年３月３１日現在

基本会員名簿

（順不同　敬称略）

《理事・監事》

三田和夫	辻川松子	三前　栄	森本久雄	大平義春
田中幸惠	松阪輝雄	嘉悦靖人	森田　勲	中村　順
尾崎豊美	今田　正	大西継一	草積祥子	長野泰信
石井孝司	住友孝明	辻川松子	西田裕二	泉水　清
古濱一三				

《評議員》

辻本啓二	三好静雄	大城盛光	山本隆章	吉村昌樹
角本ひとみ	増田裕子	高田良章	菊田幸子	田内優子
森田清次	川﨑　廷	山本美也子	中村　宏	牧　泰行
一丸博司	西尾喜美子	北野隆士	松山征勝	中本勝美
多田秀子	中尾達雄	空　伸子	小澤　明	森　光示
村上嘉代子	島林　豊	竹林けい子	竹川　浩	水本義和
北村徹男	明智博之	髙橋清一	辻林　厚	

名誉会員名簿

末中憲二	大内乗和	細田久枝	北中晴彦	福岡英雄
髙橋　寛				

賛助会員名簿

◎新東三国

《個人》

中村由紀子	筒井直美	岩井恵子	新田信孝	岩佐純一

◎東三国

《個人》

土井重治	山本喬一	坂本　勉	南　良栄	井口むつみ	大西美佐子
松田昭子	橋本宏美	藤井純柯	山口政雄	川野永二	板谷　勉
藤田ひとみ	松阪栄子	田中譲司	横山徳彦	石田雅之	金子亜貴

◎北中島

《個人》

森本久雄　林田啓子　田中鈴恵　住友俊明　小野博子　和田芳郎
畑　弘志　大垣久美子　辻井元男　足立由香理　佐々木佳子　八木佐百合
田中恵子　池永公一　小西奈緒子　髙嶋正治　久保みのり　石本久美子
田中昌弘　籾木照夫　佐藤博紀　山仲安一　浅田一雄　中村悦子
小泉眞二郎　小谷多希　杉田範子　明光寺順一　鈴木金二郎　西川　勇
前田久美子

◎宮原

《個人》

竹中妙子　有薗正秀　川原和幸　伊藤克利　田中久満　大田陽子
松阪輝雄　徳田忠義　竹中妙子　津田清美　西口　隆　筒井孝治
梅林かず子　山田久美　山本多美　近藤令子　新海宏一　土橋俊秋
池内慶也　杉原一夫　藤崎　太　岩井寿克

◎西三国

《個人》

今井算夫　岡　孝　大屋朱美　山口忠雄　萬里川冨士夫　杉本清美
平田治男　岡　憲子　新井悦代　近藤弘司　高木澄子　山地哲雄
大屋静温　奥林和夫　鈴木帝子　一井　豊　秋山里美　川西　太
池田元士　伊原弘雄　薄木豊子　山下弘子　南　正治　植田和広
滝澤祐樹　伊藤眞佐美　服部隆志　長田隆郎　服部隆志(自敬寺)
嘉悦靖人

◎三国

《個人》

三前　栄　桒波田卓見　泉　勝　貢藤啓子　森田　勲　森田清次
寺井信行　高田元明　前田恒治　安田一弘　宮内明子　久門　勝
山本宗孝　田中庸晧　西海厚子　浅葉正美　大西美穂　木原輝昭
堀　いつみ　三好和也　山根雅郎　松方正雄　山口恒敏　吉村隆訓
鳥枝健治　向埜裕志　田中茂男　辰巳　明　小林哲三　松本剛司
大塚民生　森　廣子　安達祐一　奥谷　華　宮内達夫　片松康雄

《法人》

三国新三商店街振興組合　みくにひじり幼稚園

◎新高

《個人》

米田美和　中尾直樹　足立貞喜　見﨑正勝　三島きよ子　中村亜矢子
奥村嘉夫　三好静雄　中井　猛　宮内　優　奥村一弘　三島きよ子
岡鼻ゆき江　平谷千尋　古賀常郎　河野三千代　河内明夫

◎西中島
《個人》
水本義和　北田幸弘　小合加代子　下山　薫　北中久雄　田中絹子
吉村俊英　落合宏之　橋本康彦　青木繁雄　舟田眞由美　市川隆一
山西　登　福若　守　豊田美也子　福間公夫　一村邦太郎　赤木健一
羽間福子　三田和夫　福岡光洋　大野　勉　田中升雄　青木正雄
小坂元彦　田中　薫　中野秀子　行俊豊文　森　憲治　吉田周平
上坂　正　田中　宏　中務良一　寺脇　巧　西村憲人　横田ゆかり
福田淳子　土屋智靖

◎木川
《個人》
林　正勝　中野　進　馬場　裕　安西義忠　八井芳昭　田口健一
野村正代　上山ゆかり　河﨑弘之　杉本清一郎　佐藤君江　藤島和也
野口一典　大西　濃　岩本満夫　中島美紀　川阪泰介　垣見則子
佐川美幸　富森志津江　長尾富充　長尾良子　松本雪雄　宮本雅介
山岡政男　穴吹美智子　金竹六郎　足立　進　下村　博　松岡行三
宮越睦子

◎木川南
《個人》
金光秀人　城野秀作　北浦温子　小林昭子　田中健治　松村久仁子
小杉千恵子　立花　明　山田由紀夫　井出千代子　桑野勝美　関部示人
村田　勝　金渓清代　倉田雅博　永井民余子　猪野裕美　種村晃一
西岡和昭　梶川さとこ　飛松定雄

◎十三
《個人》
西垣充和　下司太三　深谷　環　岩﨑美由紀　森田清輝　吉田一夫
上甲明美

◎野中
《個人》
田中久子　前川良子　和田憲一　脇　隆司　中田清子　小澤　明
山本艶子　四野咲子　脇　隆司　善入景子　尾河富美子　松本忠子
片岡美津子　野中地域活動協議会　野中北住宅振興町会

◎神津
《個人》
徳永由起子　中村吉郎　堀　育弘　筒井誠一　河野　保　森田哲生
西尾良典　日向昌一　青木信幸　石高利昭　西澤秀雄　岡本隆長
中田八朗　大西良雄　小林憲一　中山　宏　山本清治

《法人》
十三フレンドリー商店街振興組合代表理事横田圭司

◎新北野
《個人》
太田博紀　水野淳一　西岡仁史　中津邦夫　友善功明　垣内眞木子
松尾嘉彦　片山雅己　岩本英己　田中繋治

◎塚本
《個人》
佐々木五郎　田口　進　牧本英子　西島隆明　福田　勉　辻　尚美
福山順也　船木千恵美　堀　実男　山崎博文　上市正直　福間　都
榎田正博　安田直芽　田端崇大　佐々木健仁　深川恵子　杉山光春
厚浦宏司　久田貴枝子　木梨美奈子　菊川雅之　本荘寛美　植田正樹
松本　昇　新田勝路　桑野さかえ　工藤美津子　菊川正信　中村正市
山野智範　二川英子　平野　隆　赤澤恵子　杉本　優　新　善雄
木村智恵　西村武弘　松本道拡　池田直美

◎田川
《個人》
鯖江長子　保木　茂　中村昌子　植田　稔　筒井道子

◎三津屋
《個人》
三津屋地域１４町会

◎加島
《個人》
光在文子　坂本秀美　西岡淳一　細川多美子　池之上貞子　越智敏行
藤川吉孝　原淵久代　小川孝義　中村武子　坂尾みや子　大久保常子
末廣雄二　山本　徹　橋本秀治　中尾義秋　坂本　悟　香西優子
藤崎イツ子　山田勝候　中畑　清　江口幸子　斉藤重弘　三谷良三
山中紀雄　平井和秋　前田加代子　関口裕子　高田幸則　小島和子
福田久三　高久野義信　西田由美　北村　修　生島　誼　田村耕作
土居信貴　松山精助　芝本ヒデ子　谷岡賢幸　荒井哲夫　安原香代
国広美佐江　福本泰之　香月京子　大西節子

◎区社協取り扱い
《法人》
㈱根岸製作所　水谷ペイント㈱　㈱昭和製作所　日之出興産㈱
ドイ不動産㈱　稲畑香料㈱　モリ電子工業㈱　㈱ユタカ　㈱三木組
(有)佐仲工業　㈱明治機械製作所　野田家商工㈱　㈱ダイヘン

猪原運送㈱　エンプラ産業㈱　日本電子工業㈱　㈱茂木運送
コロナ印刷㈱　藤原自動車工業㈱　清水こどもクリニック
特定非営利活動法人あすなろの家　協同組合新大阪センイシティー　神津神社
㈱関西新幹線サービック　光用寺　㈱吉川商店　㈱プラザオーサカ
加藤広告㈱　モト心療内科クリニック　㈱松野園製薬所
平成福祉会にいたかの里　ボルカノ㈱　中央冷熱㈱　医療法人秀壮会
㈱日本介護医療センター　社会福祉法人博愛社　奥田医院　ダイヤ化成㈱
医療法人田辺整形外科　トヨタカローラ新大阪㈱　社会福祉法人加島友愛会
（医）医伸会高岡クリニック　関　企画㈱

《個人》
吉村雅子　釼﨑克己　勝又勇夫　出口博子　川東仙司　吉田ひろみ